

多文化・多世代交流…楽しかったデイキャンプ

10月15日（日）、秋雨前線の影響で思わしくない天候でしたが、一宮地域文化広場に赤ちゃんからシニア世代まで28人が集まってデイキャンプが行われました。

子どもたちが楽しみにしていたフィールドアスレチックなどの遊具は、雨のため全面使用禁止…がっかり。

でも、バーベキューのお手伝いをした後、みんなで2階の和室に集合し、お遊びタイム開始！すぐに仲良くなって、風船、オセロ、カルタなどに興じたり、カナダからの留学生と日本の伝承文化である折り紙を一緒に折ったりと楽しい時間を過ごしました。

そして、待ちに待ったバーベキュー！！焼き肉、焼き野菜、サラダ、おにぎり…楽しく会話しながらの食事は、自然と食欲も進むものですが、それでも食べきれないほどの量でした。（用意していた焼きそばの食材は、セットにしてそれぞれの家庭に持ち帰っていただきました）



▲上手に焼けたかな？



▲みんなで折り紙もしました。

今回のデイキャンプに限らず、多くの会員の皆様に参加していただける企画を今後も考えていきたいと思っています。

そのためにも、「こんなことがしてみたい。」「こういうイベントなら行ってみたい。」など、ご意見やアイデアをいただくと幸いです。

とても楽しいひとときでした。▶



岩倉東小学校で「東小夢クラブ」を開催しています

岩倉東小学校で毎週土曜日に「東小夢クラブ」が開かれています。

この会の開設理由に「東小地区の夢を育て、関わる人たちがワクワクして幸せになれることを願って。」と記されています。

具体的には、地域の無償ボランティアにより、「英語でおはなし」「初歩のポルトガル語」「にほんごでしゃべろう」「世界のことばで遊ぼう」「学習お助け隊」の5つの講座が開かれています。参加者は東小の子どもたち、保護者、岩倉市在住在勤の希望者です。

この5つの講座のうち、「にほんごでしゃべろう」

「世界のことばで遊ぼう」「学習お助け隊」の3講座を岩倉市国際交流協会が担っています。

「にほんごでしゃべろう」には、外国人や日本人の子どもや大人が参加しています。中には家族で参加している人もいます。ゲーム形式で日本語の語彙を増やしたり、日本人との会話を進める中で、楽しく日本語力を高めています。



▲教え合いながら学習しています。



▲小さな子どもと一緒に参加しています。

「世界のことばで遊ぼう」には、外国人家族の他、外国人日本人の子どもたちが参加しています。歌ったり、踊ったり、ゲームをしたりしながら多言語の世界で楽しんでいます。

「学習お助け隊」には、東小の子どもたちが、宿題やドリルなど学習用具を持って参加します。わからないことなどを大人が教えたり、子ども同士で教え合ったりしています。

東小の三浦校長は「夢クラブが、地域の結びつきを高め、10年後、20年後の岩倉が明るく住みやすい町になるための一助になってくれるといいなと思っている。」と語っていました。

誰でも参加できますので、みなさんも一度のぞいてみませんか。

『ふれ愛まつり』に参加しました



平成29年11月11日（土）、12日（日）に開催された『いわくら市民ふれ愛まつり2017』で、例年大好評のチヂミを販売しました。好天にも恵まれ、2日間で用意した600食は無事完売となりました。

今後も、市のイベントなど、様々な機会に岩倉市国際交流協会をPRできるようにしていきます。ご来場いただきました皆様、本当にありがとうございました。

◀今年も完売できました。

ホームステイ～和心を楽しむ～

10月21(土)から22(日)にかけて、JICA(国際協力機構)の研修生を迎えて、ホームステイの受け入れを行いました。

21日(土)は生涯学習センター工芸室にて絵手紙の加藤先生をお迎えして、うちわに柿やコスモスを描きました。研修生の中には日本語を書くの初めて!と言いながらも俳句を書いて楽しんでいました。

翌22日(日)はホストとの思い出づくり。ゲストのFさんは岐阜県まで和紙体験に連れて行ってもらったり、フィジーからのRさんはお互いの国の料理を作り合い、日本酒で乾杯したりと、皆さん、日本文化を満喫した。との事でした。

ご参加いただきましたホスト家族の皆様!!ゲストの皆さんを笑顔一杯にしてくださり、ありがとうございました。



▲うちわは綺麗にできました。

うるかむ to Iwakura!! Vol.5

第5回は、マラバット・マリア・レティシア・ロドリゲス (Malabat Maria Leticia Rodriguez) さんにインタビューしました。彼女は、岩倉市五条川小学校の先生の紹介で、「岩倉市公立学校フィリピン語講師」の試験を受け、今年の4月から岩倉市の小学校に席を置き、フィリピンの子供たちのサポートをしています。

編集者(以下「編」):日本に来た理由を聞かせてください。

マリア(マ):日本に来て25年になります。フィリピンでキャビンアテンダントになるための学校に通っていたときに、日本語に興味を湧き日本への留学を決めました。そして、留学中に会った日本の男性と結婚し、4人の子どもがいます。

編:南小で働いているそうですが、何をされていますか?



マ:日本語が分からない子どもたちに日本語を教えたり、心の面でサポートしています。また、保護者会での通訳や、保護者宛ての手紙の翻訳をしています。

▲マリアさん。今日も子ども達のために奮闘しています。

マ:仕事をしている上で、学校に行くのが辛いと思っている子どもが、次第に心を開き、最後には学校が楽しいと思ってくれるようになると、とても嬉しいです。

岩倉市と岩倉の子どもたちは、とても素晴らしいと思います。他の市町村と比べると、市の日本語教室等のサポートがともしっかりしていて、同じ学校に通う子どもたちも、外国人に対して心を開いてくれています。

編:夢はありますか?

マ:私はこれからも、日本で外国人の子どもに日本の文化や、日本の素晴らしいところを沢山伝え、彼らから頼られる存在でありたいと思っています。

編:ありがとうございました。これからも、お仕事頑張ってください。

募集コーナー

世界のお惣菜～フィリピン編～

今回はフィリピン料理を作ります。講師は前ページ「うえるかむ to Iwakura」に登場のマラバット マリア レティシアさんです。カルデレータ（肉の煮込み料理）、プトレチェ（蒸しパンの上にプリンをのせたもの）、などを作ります。フィリピン料理は日本ではあまり馴染みのないお料理ですが、この機会に作って食してみませんか。皆様、ふるってご参加ください。

日 時：平成30年1月27日（土）午前10時～午後2時

場 所：生涯学習センター料理室

講 師：マラバット マリア レティシアさん
（フィリピン出身）

定 員：20名

参加費：会員は無料です

（非会員は大人800円、小人400円）

申込方法：平成30年1月17日までに石黒（66-5139）

または大島（090-1470-1276）までご連絡ください。



▲カルデレータの完成例

「日本語ひろば岩倉」を紹介します

毎週水曜日、午後7時半～9時、岩倉市生涯学習センターで外国人支援のための日本語教室「日本語ひろば岩倉」を開催しています。スタッフは全員ボランティアで、日本語を教えるプロという訳ではありませんが、毎週、様々な出身国の学習者とテキストで勉強をしたり、おしゃべりをしたりと、楽しく日本語を教えています。ご興味がある方は、一度お問い合わせください。

実施日：原則第1～4水曜日

時 間：午後7時30分～9時

場 所：生涯学習センター第3・4会議室

問合先：櫻井（090-8320-9591）

会員継続手続き及び新規会員申込手続きのご案内

事業は会員皆さまの会費と岩倉市国際交流事業補助金で運営されています。平成29年度も引き続き、会員継続手続きとして下記の口座へ会費のお振込みをお願いします。新規会員申込手続きについては、下記問合せ先にご連絡をお願いします。

会費振込先 いちい信用金庫愛北営業部 普通預金 1016300

口座名義人 岩倉市国際交流協会 内藤和子

会 費 1口1,000円とし、個人会員（家族会員）は3口以上、高校生以下はジュニア会員として1口、団体会員は10口以上です。

問 合 先 内藤（0587-66-7347） 出野（0587-37-2495） 竹安（090-1230-2444）

会 報 COM第93号（2017年12月1日） 事務局 〒482-0021 岩倉市新柳町3-21-2（内藤方）

発 行 岩倉市国際交流協会 TEL・FAX 0587-66-7347

印 刷 大橋印刷所 HP:<http://www.iies.info/> mail:iies2017@yahoo.co.jp